



10

新川児童センター（清須市）  
お父さんと遊ぼう  
謎解き脱出ゲーム in 新川児童センター

家庭や地域での子育ての力の強化を図るため、父と子を対象にしたテーマのプログラムを実施しました。

きっかけとなったのは、愛知県児童総合センターのイクメンキュレーター養成事業として行われた「閉ざされた児童館からの脱出」に新川児童センターの児童クラブを利用している父子が参加し、「これなら新川でもできそうですよ」と、参加した父親の一言から始まりました。

早速企画を進めていき、ポスターを掲示すると送迎に来ている母親が、「家の旦那好きそう！」と興味を示す姿が見られ、センター始まって以来の初企画というところも関心を誘いました。当日は初対面の父親ばかりでしたが、謎解きに挑戦するなかで自然と会話が生まれ、ステージごとに父親同士の距離が縮まるのを感じ、また父と子が同じ時間を共有し、父親が父親らしく子育てを楽しむきっかけ作りとなる場を提供することができたと思います。



実施日時 2019年2月9日（土）  
10:00～12:00

会場 新川児童センター 2F  
(遊戯室・クラブ室1・クラブ室2)

参加者 募集人数：父子10組20名  
参加人数： 6組13名

企画の内容

- ① 説明を聞く（遊戯室）  
「1時間以内に各ステージの暗号を解読し、センターから脱出せよ」
- ② 謎解き（1の部屋）  
「室内に用意された11問の謎を解き、みんなで隠された暗号解読に挑戦」
- ③ カプラの部屋（2の部屋）  
「親子で協力して高さ150cmカプラを積み！大人は直接積めないぞ！」
- ④ 謎解き（1の部屋）  
「謎解きに挑戦。みんなで力を合わせれば暗号が浮かび上がる」
- ⑤ 謎解き（遊戯室）  
「ラストステージ！手に入れたアイテムで暗号解読し、鍵を手に入れる」  
脱出を遂げ、1階へ移動



父親対象の企画を行なった所感・今後の展開など

明るい雰囲気を受け入れ、期待感を共有しながら落ち着いてすごせるように心がけました。初めてセンター内に入る父親もいたので、子どもを通じて父親とのコミュニケーションを図りながら職員との関わりも作っていきました。ゲーム中は、参加者の気付きや閃きに共感しながら楽しい雰囲気を作っていき、参加者が自らの力で解読する姿を温かく見守るようにしました。帰る人には、明るく声をかけながら見送り、1階で少しすし

ていく人には感想などを聞きながら楽しかったことを共感し、充実感を味わえるようにしました。父親と子どもが、喜んでくれるのか不安と期待の入り混じった初めての取り組みでしたが、想像以上に楽しんでもらえ、加えて設定時間も1時間ぴったりと、文句なしの企画大成功でした。今後の展開に尽力していきたいと思っています。